

English pages inside

チマッティ資料館館長 ガエタノ・コンプリ神父

調布にもキリシタンが注目

来年の春、高山右近が福者にされることは、日本の教会にとってその英雄的な信仰を考えるよいチャンスである。当時、迫害の中で信仰は極限状態に置かれ、信者にとってそれを貫くことは死を選ぶことを意味していた。実際、日本の殉教者は2万ないし4万人に上ると言われている。また、隠れることによって250年も信仰を保つことに成功した多くの信者もいたのである。私は、当時の日本信徒の信仰の強さに感銘するが、現代も、アフリカや中近東だけでなく、隣の国にも殉教者が多く、信仰を保つためにすべてを捨てて避難民となることを選ぶ数千万の人々にも頭を下げる。

今年、日本にはいろいろな形でキリシタンが光を浴びている。国立博物館での伊藤マンショの肖像展、キリシタン屋敷で最後の殉教者シドッティ神父の墓と遺骨が発見されたこと、調布のサレジオ神学院にあるキアラ神父の墓碑が文化財とされイタリアでその肖像が発見されたこと、バチカン図書館でサレジオ会のマレガ神父が発見した1万点の文書が解読中であること。キリシタンの歴史は、まことに隠されている計り知れない宝物である。もっと調べる、もっと知らせる値打ちがあるだけでなく、何よりもそれに学ぶべきである。



細川ガラシア

10月15日、細川ガラシアのオペラの上演

そのための一つの良い機会は、今年10月、調布市グリーンホールでチマッ

ティ神父作曲「細川ガラシア」という日本最初のオペラが上演されることである。

細川ガラシアは、高山右近と同時代の日本の輝かしいヒロインである。1563年、織田信長配下の武将明智光秀の三女玉子として生れ、16歳の時細川忠興に嫁いだ。1582年父光秀の本能寺での信長への謀反により、忠興は玉子と19歳の時離縁し、2人の幼児とともに丹後の山里、味土野（みどの）へ幽閉される。その2年後には復縁を許され大阪の玉造の屋敷に住むようになるが、ここの南蛮寺でキリスト教に出会い、玉子が25歳、1587年の時、清原マリアより洗礼を受け、洗礼名は「神の恵み＝ガラシア」とされた。ここに「細川ガラシア」が誕生する。のちに天下分け目の合戦、関が原の戦いの端緒ともなった石田三成による細川邸襲撃の際、三成の人質になることを拒み、こどもを逃がし猛炎の中、最後の祈りを捧げ、家臣に胸を突かせ壮烈な最期を遂げたといわれている。それは1600年、細川ガラシア37歳の時であった。

この劇的な出来事を最初に日本で紹介したのは、上智大学のヘルマン・ホイヴェルス神父であった。チマッティ神父は、師の脚本にもとづいて1940年2幕の形でそれを作曲し、それは日比谷公会堂で上演された。戦後、サレジオ神学院が調布に移された後、1955年、調布でそれを3幕のグランドオペラの形でそれを完成した。過去には、編曲の形で上演されたが、今回、作曲されたオリジナルのままで上演されることになる。

Foreword: Let's Open the Windows of Our Hearts to God!

**Sister Masuko Kanematsu,
Convent of the Congregation de Notre Dame**

(Translation RW)

☆ テーマ投稿募集！ ☆

- ◎ 「わたしとマリアさま」…マリアさまに関する思い出やエピソードを、お寄せください！ もちろん題名をイエスさま、神さまに変更しても！
- ◎ 「わたしの祈り」…みなさんは、いつどんな風にお祈りしますか？ 日頃、みなさんがしているお祈りの時間や方法など、どんなことでもいいので、教えてください。

自由投稿も、随時 募集しています。投稿は 1000 字以内に。
お名前（ペンネーム・霊名でもOK）と題名を書き、教会受付
または 電子メールで

shalom_toukou@chofu-church.ciao.jp まで



自由投稿

Tough love (後編)

フランシスコ・ザビエル 野田 哲也

私は祈りたかった。祈りにすがりたかった。そうでもしなければ、私が壊れそうな気がしていた。私は泣きたかった。泣いても何も変わらないことを痛いほど知りつつも、泣きたくてしょうがなかった。私は私を責めたかった。彼が苦しんだように私は苦しむ必要があると感じずには居られなかった。私の心は乱れるままに乱れ、生気を失い、しかし、救いを求め、とにかくセント・ジョンのチャペルに逃げ込むような思いで重い身体を引きずるようにして向かった。目には変わらない雑踏が映っていたが、耳には何も聞こえていないような気がしていた。私はチャペルまでの道を一心にして、他のすべてを遮断していた、そうせざるを得なかった。

教会の門をくぐると、私は自分が息を切らして歩いて来たことに気が付いた。心も体も疲れ切ったその私を、両手を広げて待っていたイエスが立っていた。そこには、



そこまで歩いて来た時にも私を照らしていた同じ太陽が違った平安の顔を見せていた。イエスの前に立ち、私は胸に手をあて、粉々になっている意識をまとめ上げるように、置いた胸の奥に疼く痛みを感じなおした。

それから私は何かに引き寄せられるように、チャペルには向かわず、右手の方にあるMC (Missionaries of Charity マザー

・テレサの修道会「神の愛の宣教者会」の略)の黙想会の施設の方に向かった。私はシスター・ニルマラに会えたらと思った。私は一人のインド人のシスターに、シスター・ラファエル(日本人で一番最初にマザーの修道会に入ったシスター)を呼んでもらえますかと頼み、大きなマンゴーの木の下で駆け回るリスを眺めながら彼女を待っていると、ゆっくりとした足の運びをし、彼女は歩いて来た。

シスター・ラファエルには以前から、シスター・ニルマラの身体の調子が良い時には会わせてあげると言われていた。一月の終わりに私がマザーハウスで洗礼を受けた時にも、シスター・ラファエルは私にシスター・ニルマラからの祝いのカードを持って洗礼式に来てくれた。その私の洗礼の祝いもかねて、シスター・ラファエルは私をシスター・ニルマラに会わせてくれようとしていたようだった。その日のシスター・ニルマラの体調は良く、教会の仕事をしているワーカーの息子の誕生を今祝福しているので、それが終わったら呼んであげるとのことだった。

私は観想会のなかにある小さな部屋に待たされた。そこは少し薄暗い部屋ではあったが、私の心を母胎の中のような優しく落ち着かせる雰囲気満ちていた。祈るよう

な思いで部屋に静かに置かれていた大好きなマザーの写真やマザーが所持していたもの、各国の言葉で訳されたマザーの本たちを眺めた。

しばらくすると、シスター・ラファエルが、彼女よりもゆっくりと歩くシスター・ニルマラを連れて来てくれた。そこで椅子に座るように言われ、私はシスター・ニルマラの真向いに座り、右手にシスター・ラファエルが座った。

まずシスター・ラファエルは、私をマザーハウスで洗礼を受けた者として紹介してくれた。シスター・ニルマラは、人間味溢れる深い満面の笑みで喜んでくれた。そして、シスター・ニルマラに聞いたかったことの的を外さないように、まず私の意識のほとんどを覆っている今日のシアルダーでの出来事を話した。その時私は誰かに話すことで無意識に癒されたいと感じていたのかも知れない、それを話さずには居られなかった。それは、聞いたかったことと同じ質問のようだった。どうしようもない苦しみの中、マザーはどのようにシスターたちに伝えていたのかということを知りたかったことと。



私は胸の内にある疼くものを話し始めた。シスター・ラファエルはそれを訳して、シスター・ニルマラに伝えてくれた。シスター・ニルマラは両手をテーブルの上に置くと、そのまましばらく何も言わなかった。無音だけが響いていた。その瞬間シスター・ニルマラは私の苦しみを全身で受けているようだった。私の話しを脳裏で感じているのではなく、身体の内に入れて深く感じているようだった。その沈黙は愛に違いなかった。私は大切にされていると感じた。

沈黙のなかにシスター・ニルマラの深い愛を感じた。マザーの思い「目の前の一人のなかのイエスに接すること、それは一対一であり、そして一人ひとりであること」の状態そのままであるシスター・ニルマラを感じ、そこにマザーの面影を見た。そして沈黙をゆっくりと払いにのけ、シスター・ニルマラは身体の奥底から言葉を出すように静かな口調で「Tough loveが必要です・・・」と言ってくれた。

私は、それまで誰からも「Tough love」などと言う言葉を聞いたことがなかった。その言葉が強烈に私に響いた。瞬時にそれはマザーのこと、マザーのすべての行いのなかにあったもの、まさにマザーの数々味わってきたカルワリオでの思いのそのものであることを直に知らされた思いになった。

私は、それまで誰からも「Tough love」などと言う言葉を聞いたことがなかった。その言葉が強烈に私に響いた。瞬時にそれはマザーのこと、マザーのすべての行いのなかにあったもの、まさにマザーの数々味わってきたカルワリオでの思いのそのものであることを直に知らされた思いになった。

「Tough love」はどう訳せば良いのだろうか。いや、訳さずにそのままでも良いような気もした。私には十分すぎるほど、その言葉のあらゆる意味が全身を駆け巡り浸透してきた。もし訳すのであれば、それは「挫（くじ）けない愛・折れない愛」となり、そこにはイエスが激しく傷付けられながらも、にも拘（かかわ）らず、十字架を背負い続ける究極の愛の姿が見えてくる。そして、その人のことを誰よりも愛そう

としたマザーのまた同じ姿が見えて来た。

私はその姿を思い浮かべるだけで、全身全霊がまた新たな愛で満たされていく思いになった。シスター・ニルマラはやはり崇高な人格者であり、マザーが後継者に選んだシスターであることを肌身で感じた。

シスター・ニルマラは終始穏やかな口調で話してくれたが、その言葉の一つひとつは決して上辺だけの言葉ではなく、深い信仰と数々の愛の行いに裏打ちされたものから生まれていた。神さまは私が挫けそうになっていたまさにその時に、天使のようなシスター・ニルマラを私の目の前に現せてくれた。苦しい時ほど、神さまは身近なところに居られることを知ると同時に、神さまは愛のない私に必要な愛を足してくださることも感じた。私は生涯シスター・ニルマラが教えてくれた「Tough love」を忘れることは決してないだろう。「Tough love」とはマザーの愛の行い、その根底に欠かせないものであったことを、私は私の行いの内に顧みようとし続けるであろう。たとえ神さまの沈黙があったとしても、それがシスター・ニルマラが示してくれたような愛の沈黙であることを、私は思い出すに違いないだろう。

サマーキャンプ ご協力をお願い



今年も、8月5～8日に、子どもたちが野尻湖にキャンプに行きます。楽しく充実したキャンプになるよう、みなさまにご協力いただけないでしょうか。

お米（なるべく無洗米でお願いします）、調味料、海苔、かつお削り節、コーヒー、紅茶や、食器用洗剤、スポンジ、ラップ、ホイル、保存用バッグ（ジップロックなど）など、食料品、台所用品を寄付して下さるとありがたいです。

ご協力いただける場合、教会受付前に箱を置きますのでその中にお入れください。

*期間は7月31日（日）までとさせていただきます。

なお、食料品の賞味期限は8月いっぱいあるものをお願いいたします。

青少年司牧

奉仕案内 ～ 掃除当番表 ～

7月の担当地区は下記のとおりです。担当地区を中心に広く皆様の参加をお願いします。

7/ 2(土)	7 地区(佐須・柴崎・仙川・つつじヶ丘・菊野台・都区内)
7/ 9(土)	8 地区(三鷹・武蔵野・小金井・国分寺・国立・東村山)
7/16(土)	1 地区(布田・八雲台・国領)
7/23(土)	2 地区(調布ヶ丘・深大寺)
7/30(土)	3 地区(染地・狛江・川崎)

編集後記

皆さま、今月のシャロームは、いかがでしたでしょうか？

▲シャローム発行の今日は、父の日。感謝のミニコンサート、みなさん、神父さまとともに楽しめましたでしょうか？毎週のミサ、毎月の教会行事、ソーリヒ神父さまとの距離もみなさん、縮まりつつあるのではないのでしょうか。▲さて、今月号の巻頭言、とても身につまされる思いです。仕事や日常生活において、パソコンやスマホから目が離せないのが現実です。確かに、IT の発展はさまざまな人間活動の効率化につながっています。私たちもその恩恵を受けながら生活していることも事実。でも、それでも、シスターの言う「情報と自分だけで 99%心が一杯になっても、1%は神の命の息吹が吹けるように…」、それは1日の時間で例えたらほんの 10 数分間のこと。神に向かって心の窓を開く時を、日々の仕事・生活の中で、自然と持てるようになりたいですね。▲梅雨です。近年では、梅雨といっても梅雨らしくない年もありますね。今夏は猛暑との予報。これも、人間活動による気候変動に伴った異常気象の影響か…。(GT)



広報では、ご意見・ご感想など、皆さまの声をお待ちしております。教会受付、または下記のアドレスまでお送りください。

ご意見専用アドレス : shalom_goiken@chofu-church.ciao.jp

またシャロームでは、各活動グループからの記事を募集しています。掲載原稿は、今まで通り、教会受付にお渡しいただくか、下記のアドレスまでお送りください。

記事投稿専用アドレス : shalom_toukou@chofu-church.ciao.jp

カトリック調布教会

〒182-0033

東京都調布市富士見町3-21-12

Tel 042-482-3937

Fax 042-481-6339

<http://chofu-church.ciao.jp>

July 2016 Schedule

Date	Day	Mass Times	8:00	9:15	10:30	Planned	Time	Place
2016/7/1	Fri	The Blessed Peter Kibe & 187 Companion Martyrs				First Friday Mass	10:30	Lady Chapel
2	Sat					Cleaning Area 7	10:00	
3	Sun	14th Sunday of the Year	o	o	o	Mass Church Council	Usual 9:10	Church Maria Room
4	Mon							
5	Tue					Readings in St. Mark's Gospel (Sr. Shimasaki) Handicrafts Group	10:00 10:00	Joseph Room Maria Room
6	Wed					Catechism (Sr. Shimasaki)	10:00	Maria Room
7	Thu							
8	Fri							
9	Sat					Cleaning Area 8 English Bible Class (Mr. Williams)	10:00 16:00	Maria Room
10	Sun	15th Sunday of the Year	o	--	o	Mass Regular meeting of the Maria Kai English Mass	Usual 9:10 14:30	Church Maria Room Church
11	Mon							
12	Tue					Lectio Divina (Sr. Shimasaki) Handicrafts Group	10:00 10:00	Joseph Room Maria Room
13	Wed					Catechism (Sr. Shimasaki) Reading & enjoying the Bible (Sr. Akiyama)	10:00 10:00	Joseph Room Maria Room
14	Thu							
15	Fri					Anna and Joachim Meeting	10:00	Maria Room
16	Sat					Cleaning Area 1	10:00	
17	Sun	16th Sunday of the Year	o	--	o	Mass	Usual	Church
18	Mon	Marine Day						
19	Tue					Readings in St. Mark's Gospel (Sr. Shimasaki)	10:00	Joseph Room
20	Wed					Catechism (Sr. Shimasaki)	10:00	Maria Room
21	Thu					Lectio Divina (Sr. Kanematsu)	10:00	Joseph Room
22	Fri	St. Mary Magdalene						
24	Sat					Cleaning Area 2 English Bible Class (Mr. Williams)	10:00 16:00	Maria Room
24	Sun	17th Sunday of the Year	o	--	o	Mass	Usual	Church
25	Mon	St. James						
26	Tue	Sts. Anna & Joachim						
27	Wed							
28	Thu							
29	Fri	St. Mark						
30	Sat					Cleaning Area 3	10:00	
31	Sun	18th Sunday of the Year	o	--	o	Mass	Usual	Church

Newcomers please make private arrangements with the Rector for introductory courses (catechism).

2016年 7月 行事予定

日	曜日	ミサ時間	ミサ時間			予 定	時間	部屋
			8:00	9:15	10:30			
2016/7/1	金	福者ペトロ岐部と187殉教者				初金ミサ	10:30	小聖堂
2	土					掃除当番 7地区	10:00	
3	日	年間第14主日	○	○	○	ミサ 教会委員会	9:10	教会聖堂 マリア会室
4	月							
5	火					マルコ福音書を読む (Sr. 嶋崎) 手芸の会	10:00 10:00	ヨゼフ会室 マリア会室
6	水					入門講座 (Sr. 嶋崎)	10:00	マリア会室
7	木							
8	金							
9	土					掃除当番 8地区 English Bible Class (Mr. ウィリアムス)	10:00 16:00	マリア会室
10	日	年間第15主日	○	なし	○	ミサ マリア会定例会 English Mass	9:10 14:30	教会聖堂 マリア会室 教会聖堂
11	月							
12	火					Lectio Divina (Sr. 嶋崎) 手芸の会	10:00 10:00	ヨゼフ会室 マリア会室
13	水					入門講座 (Sr. 嶋崎) 通読しながら聖書を味わう会 (Sr. 秋山)	10:00 10:00	ヨゼフ会室 マリア会室
14	木							
15	金					アンナとヨアキムの会	10:00	マリア会室
16	土					掃除当番 1地区	10:00	
17	日	年間第16主日	○	なし	○	ミサ		教会聖堂
18	月	海の日						
19	火					マルコ福音書を読む (Sr. 嶋崎)	10:00	ヨゼフ会室
20	水					入門講座 (Sr. 嶋崎)	10:00	マリア会室
21	木					Lectio Divina (Sr. 兼松)	10:00	ヨゼフ会室
22	金	聖マリア (マグダラ)						
23	土					掃除当番 2地区 English Bible Class (Mr. ウィリアムス)	10:00 16:00	マリア会室
24	日	年間第17主日	○	なし	○	ミサ		教会聖堂
25	月	聖ヤコブ						
26	火	聖アンナ聖ヨアキム						
27	水							
28	木							
29	金	聖マルタ						
30	土					掃除当番 3地区	10:00	
31	日	年間第18主日	○	なし	○	ミサ		教会聖堂

主任司祭による入門講座は、適宜、個人的に行っています。